

造園業 ～トリマー作業をサポート～

大島造園土木株式会社 豊田支店様

Q.アシストスーツ導入の背景は？

- A.造園業では人手不足が一番の問題となっています。
そこで当社は、作業者の負担軽減や、新規作業者の獲得につながる新しい作業改善の技術に目を向けてきました。
その一環として、アシストスーツに魅力を感じ導入を進めました。

Q.アシストスーツ導入を検討された作業は？

- A.造園業は1日で様々な作業がありますが、その中でも負担の大きいトリマーで高い位置の生垣や植木を刈り込む作業で導入を検討しました。
トリマーは大きいもので約5kg、更に継続的に持ち上げ続けなくてはならないため、肩や腕の負担が非常に大きいです。

Q.「TASK AR」の良い点は？

- A.一般に普及している全身や腰を補助するアシストスーツも試しましたが、効果を実感しづらく、造園管理作業には向いていないと感じました。
一方で、「TASK AR」はしっかりと腕を持ち上げてくれるので、負担の軽減が実感しやすく、導入効果がわかりやすい点が良かったです。

Q.「TASK AR」を利用した今後の展望は？

- A.人手不足の中で、どうしても高齢・女性の作業が増えてきます。
特にそうした方たちに楽に働いていただくためにも、作業負担を少しでも軽減できるよう役立てたいと思います。



<インタビュー協力者>



大島造園土木株式会社
Oshima Landscape Construction Co., Ltd.

<事業内容>

全国規模で緑化工事を手掛けると共に、お客様のニーズに合わせたあらゆるジャンルの緑化の企画、施工、メンテナンスをご提案



大島造園土木株式会社
豊田支店 取締役支店長
日比 博史 様

